

入札公告

1号工事

次のとおり、条件付一般競争入札を実施するので、地方自治法施行令第167条の6の規定により公告する。
また、各項に掲げるもののほか、東広島市建設工事等条件付一般競争入札公告共通事項（建設工事）（以下「共通公告」という。）による。

令和3年3月26日

東広島市長 高垣 廣徳

- 1 工事名 令和2年度 急傾斜地崩壊対策事業 砂原地区急傾斜地崩壊対策工事
2 工事管理番号 7-102-0583
3 工事場所 東広島市安芸津町木谷
4 工事概要 【砂防土工】掘削工 V=520m³、残土処分工 V=690m³
【法面工】吹付砕工 A=436m²、植生基材吹付工 A=160m²、モルタル吹付工 A=138m²
【擁壁工】重力式擁壁工 V=361m³、法枠基礎工 V=11m³、落石防護柵工 L=68m
【山腹水路工】側溝工 L=107m、現場打ち集水桝 N=5箇所
【撤去工】構造物取壊し工 V=26m³、吹付モルタル取壊し工 A=39m²
【仮設工】仮設防護柵工 L=34m
【境界工】境界設置工 N=2箇所

- 5 工期 契約日の翌日から令和3年12月3日まで
6 予定価格 57,725,000円（消費税及び地方消費税相当額を除く。）
7 最低制限価格 有り
8 建設工事の種類 土木一式工事

9 競争入札に参加する者に必要な資格に関する事項

次に掲げる要件を全て満たしていること。(2)から(7)までの要件は、それぞれに特記してある場合を除き、上記8の建設工事の種類について満たしているものとする。

(1) 平成31・32年度東広島市建設工事競争入札参加資格者として認定されている業種	土木一式工事		
(2) 東広島市水道局指定給水装置工事事業者の指定	不要		
(3) 建設業法第15条の許可（特定建設業許可）の要否	不要		
(4) 建設業の許可を受けている営業所所在地等 ※営業所とは、建設業法（昭和24年法律第100号）第3条第1項で許可を受けた営業所とする（以下同じ）。 ※主たる営業所とは、建設業許可申請書別紙二の「主たる営業所」欄に記載されている営業所とする（以下同じ）。 ※本店とは、登記されている本店とする（以下同じ）。	東広島市内に主たる営業所かつ本店を開札日から遡って継続して1年以上有する者		
(5) 認定等級又は年平均完成工事高 ※認定等級（格付け）とは、東広島市建設工事等請負業者選定に関する規程第4条第1項に規定する資格の格付のことで平成31・32年度東広島市建設工事競争入札参加資格認定通知書に工事種類別に記載されているものをいう。 ※年平均完成工事高とは、平成31・32年度東広島市建設工事競争入札参加資格申請時に提出した総合評価値通知書に記載された工事種類別のものをいう（東広島市内に主たる営業所かつ本店を開札日から遡って継続して1年以上有する者に限り、年平均完成工事高は問わない）。	ア 東広島市内に主たる営業所かつ本店を開札日から遡って継続して1年以上有する者	認定等級（格付け）	A
(6) 同種・類似工事の元請施工実績 ※必ず「東広島市建設工事等条件付一般競争入札公告共通事項4」の基準等を満たすこと。	問わないものとする。		
(7) 技術者 ※必ず「東広島市建設工事等条件付一般競争入札公告共通事項4」の基準等を満たすこと。 ※災害復旧工事に係る主任技術者及び現場代理人の兼務制限を緩和する特例措置を講じている。詳細は、「平成30年7月豪雨に伴う災害復旧工事に係る主任技術者及び現場代理人の兼務制限の緩和について」を参照すること。	次のいずれにも該当する技術者を施工現場に専任で配置できる者 ア 土木工事業に係る監理技術者又は主任技術者の資格を有する者 イ 法面処理工事の経験（監理技術者、主任技術者又は現場代理人としての元請経験に限る）を有する者 ウ 入札参加者と直接的かつ恒常的な雇用関係にある者	年平均完成工事高	問わないものとする

10 その他入札条件（詳細については共通公告に記載）

- (1) 使用契約約款：「建設工事請負契約約款」及び「建設工事請負契約約款特約事項」（東広島市ホームページ掲載のもの）
(2) 市町村税の滞納のない者対象案件：共通公告1(11)参照
(3) 完全電子案件：共通公告1(12)参照
(4) 電子くじ実施対象案件：共通公告5C(3)参照
(5) 社会保険未加入対策対象案件：共通公告5J参照

1 1 入札参加及び提出資料

本案件入札に参加しようとする者は、電子入札等システムを利用して入札を行うこと。なお、システム障害等により、書面参加を希望する者は、電子入札実施要領第4条第2項により書面参加申請手続きを行うこと。

入札の結果、落札候補者となった者は、次の提出資料各1部を電子入札等システムを利用し速やかに提出すること。

提出資料		詳 細
資格要件確認資料	(1) 経営事項審査の総合評定値通知書の写し	開札日の前日から1年7か月前以降の日を審査基準日とするもの
	(2) 施工実績及び配置予定技術者確認資料	様式第1（原則、添付ファイルはE x c e l形式で提出すること）
	(3) 会社の実績を確認するための資料	必要なし
	(4) 技術者の資格を確認するための資料	次のいずれか1つ以上 ア 「監理技術者資格者証（表・裏）の写し」及び「監理技術者講習修了証の写し」 ※監理技術者資格者証の裏面に監理技術者講習修了履歴が記載されている場合は、「監理技術者講習修了証の写し」は不要とする。 イ 「技術者合格証明書の写し」及び「雇用関係にあることを確認できる書類（健康保険証等）の写し」
	(5) 技術者の経験を確認するための資料	必要なし
	(6) 誓約書	様式第4（原則、添付ファイルはW o r d形式で提出すること）
	(7) 建設業許可申請書別紙二の写し	必要なし
	(8) 経營業務の管理責任者及び専任技術者を確認するための資料	必要なし
	(9) 媒体提出届	様式第5（原則、不要） ※ただし、電子入札等システムを利用せず書面又はC D-Rにより持参する提出資料があるときは、媒体提出届を、電子入札等システムを利用しW o r d形式の添付ファイルとして提出するとともに、契約課に持参する媒体にも写しを添付すること。

1 2 日程等に関する事項

手続き等	期間・期日等	場 所 ・ 留 意 事 項
公 告 日	令和3年3月26日	東広島市ホームページ 及び 契約課掲示板に掲示する。
設計図書の閲覧	令和3年3月26日～ 令和3年4月1日	東広島市ホームページに掲載する。 ※設計図書を閲覧していない者のした入札は、無効とする。
質問書提出期間	令和3年3月26日～ 令和3年4月5日	質問書（様式第7）により建設部河川港湾課へ持参すること。 提出期間後の質問は受け付けない。
回答書閲覧期間	令和3年4月9日～ 令和3年4月14日	東広島市ホームページに掲載する。 回答書の有無を確認し、回答書がある場合は、必ず閲覧すること。
入 札 期 間	令和3年4月13日 （午前9時～午後5時）及び 令和3年4月14日 （午前9時～午後4時）	電子入札等システムを利用して入札を行う。
開 札 日 時	令和3年4月15日 午前9時30分	電子入札室（本館4階）で行う。
事 後 審 査	開札後に入札参加資格要件を審査し、その後落札決定を行う。	電子入札等システムで落札者決定通知を行う。

1 3 問合せ先

東広島市 総務部 契約課 （東広島市西条栄町8番29号 電話 082-420-0930）

入札公告に関する補足事項

競争入札参加資格者名簿の更新に伴う競争入札参加資格の取扱いについて

(1) 概要

建設工事の競争入札参加資格者名簿は、2年ごとに更新することとしており、令和3年4月1日から新名簿となる予定です。

この名簿の更新に伴い、入札公告日と開札日の属する年度が異なる場合における入札参加資格の取扱いは次のとおりとします。

<入札公告抜粋>

9 競争入札に参加する者に必要な資格に関する事項

(1) 平成31・32年度東広島市建設工事競争入札参加資格者として認定されている業種

(5) 認定等級又は年平均完成工事高

※認定等級（格付け）とは、東広島市建設工事等請負業者選定に関する規程第4条第1項に規定する資格の格付のことで平成31・32年度東広島市建設工事競争入札参加資格認定通知書に工事種類別に記載されているものをいう。

※年平均完成工事高とは、平成31・32年度東広島市建設工事競争入札参加資格申請時に提出した総合評定値通知書に記載された工事種類別のものをいう（東広島市内に主たる営業所かつ本店を開札日から遡って継続して1年以上有する者に限り、年平均完成工事高は問わない）。

(2) 取扱い

東広島市建設工事競争入札参加資格は、平成31・32年度東広島市建設工事競争入札参加資格を原則とします。

なお、平成31・32年度東広島市建設工事競争入札参加資格については、東広島市建設工事等条件付一般競争入札公告共通事項（建設工事）4(1)中（「資格要件は、開札日の前日の状況により判断する。」）の記載にかかわらず、令和3年3月31日時点の状況で判断します。

ア 平成31・32年度の認定があり、かつ、令和3・4年度の認定がある者の取扱い

平成31・32年度東広島市建設工事競争入札参加資格により令和3年3月31日時点の状況で判断します。

※ 入札公告9(5)に規定する認定等級（格付け）及び年平均完成工事高についても、平成31・32年度東広島市建設工事競争入札参加資格により資格要件の審査を行います。

イ 平成31・32年度の認定のある者で、令和3・4年度の認定のない者の取扱い

平成31・32年度東広島市建設工事競争入札参加資格により令和3年3月31日時点の状況で判断します。そのため、令和3・4年度の認定のない者でも、平成31・32年度の認定のある場合、入札参加は可能です。

※ 入札公告9(5)に規定する認定等級(格付け)及び年平均完成工事高についても、平成31・32年度東広島市建設工事競争入札参加資格により資格要件の審査を行います。

ウ 令和3・4年度から新たに認定される者(平成31・32年度の認定のない者に限る。)の取扱い<特例>

開札日の前日時点で、令和3・4年度東広島市建設工事競争入札参加資格を有する者は、特例として参加できるものとします。

ただし、市内本店の場合は、主たる営業所かつ登記の本店を開札日から遡って継続して1年以上有していることを要します。

※ 入札公告9(5)に規定する認定等級(格付け)及び年平均完成工事高についても、令和3・4年度東広島市建設工事競争入札参加資格により資格要件の審査を行います。

入札公告日と開札日の属する年度が異なる入札案件への参加の可否(3月公告、4月開札の入札案件)

補足事項 (上記記載項目)	競争入札参加資格の認定年度	入札参加	資格の判断 (審査基準日)	技術者の配置 (2号工事)
(2) ア	平成31・32年度認定有り、かつ、 令和3・4年度認定有り	○	平成31・32年度認定 (令和3年3月31日時点)	契約後に配置
(2) イ	平成31・32年度認定有り、かつ、 令和3・4年度認定無し	○	平成31・32年度認定 (令和3年3月31日時点)	契約後に配置
(2) ウ	平成31・32年度認定無し、かつ、 令和3・4年度認定有り	△(※)	令和3・4年度認定 (開札日の前日)	契約後に配置

※ ただし、市内本店の場合は、主たる営業所かつ登記の本店を開札日から遡って継続して1年以上有していることを要します。